

地域の人びとと「ともに創る学校」が理想

校長 刑部之康さん

創価大学経済学部卒業
東大和市立第九小学校 校長

「教師ほどおもしろい仕事はないですね。この春から校長になつて、ますますその思いを強くしています」

ここ東大和市立第九小学校に赴任して半年あまり。校内を歩く刑部之康さんに、「校長先生」「校長先生」と、子どもたちがひっきりなしに寄ってくる。

「二十五年前に教育実習に行つたときは、自分のような人間が教師になつてやっていけるか、子どもたちにいるいろいろな言われて

潰れてしまうのではないかと、内心びくびくしていたんです。けれど、実際に学校に行つてみると、先生、先生と子どもたちが寄ってきてくれて、そんな迷いはふつとんでしまいました」

刑部さんが初めて教師になりたいと思つたのは、創価中学校三年のときだ。当時の担任、塩田英彦先生に強い影響を受けた。「授業を通して、生き方を教えてもらったというか、生きる希望を与えてもらった気がします。

Osakabe Yukiyasu

「創価」とは、価値を創造すること。そして、「創価教育」とは、そのような人生を歩む人間を育てること。創価大学は、「人間教育の最高学府たれ」を建学の精神に掲げ、創立以来三十五年、「創価教育」の実践に取り組んできました。このシリーズでは、多彩な分野で活躍する卒業生たちの現在を追ひ、その教育の真価に迫ります。

でも、高校生になると映画監督もいいたとか、雑誌記者になりたいとか、いろんなことに興味が広がって、教師になりたいと思つたことなど忘れていたんです。大学でも、文化祭の実行委員をやつたり、サークル活動やアルバイトをしたりという毎日でした

そして、いざ教師になつてみると、自分がそれまでやってきたこと全部が活かせる仕事だとなつたと気づいたのだという。「ただ、校長の仕事は少しがいます。一番大事なのは、どんな学校にしたいかというビジョンをもつて、それを実現していくことだと思ひます」

刑部さんは、今、「ともに創る学校」というビジョンを掲げ、保護者だけでなく、地域ぐるみで関わってもらえるような学校づくりに取り組んでいる。「今年の運動会では、地域の家族を回つてお願いして、児童数約百八十人に対して参観者が六百人ほどにもなりました。自分の孫や子どもが通つていなくても、学校に関心をもつてくださる方はいます」

一般的には学校に関わつてい人だけで組織される学校運営協議会に、文化協会や「環境を考ふる会」の人たちにも加わつてもらつた。

「そういった方々の経験や活動を学校教育の場で活かしていただければ、子どもたちの学びがもっと豊かになると思ひます。東大和市では、今後市内各校に図書館指導員を広げていく計画ですので、これも、子どもたちにとつてすごく良いことだと期待しています」

「教育の目的は子どもたちの幸福」が、創価教育の柱となる理念だ。現在、創価大学からは毎年三百人を超える卒業生が教員となつて全国に巣立つ。

「いろいろなことに挑戦したらいいと思ひます。創価大学はそれができるところだし、将来、きつと役に立つと思ひます」

創価大学では、教員志望の学生に早くから学校現場を体験してもらつと、八王子市などの小・中学校に週二回学生を派遣する「学校インターンシップ」制度も五年前から始めている。



おさかべ・ゆきやす / 1978年創価大学経済学部卒業。79年東京都立川市立川口中学校に赴任。82年兵庫教育大学大学院修士課程教科領域コース入学。84年同大学院修了、川口中学校に復職。2000年東大和市第三中学校教頭。05年東大和市立第九小学校校長。



Soka Report | 創作者の軌跡 | 平和・文化・教育の世紀へ ②

創価大学の創作者である池田大作SGI会長は、世界の平和・文化・教育への貢献を高く評価され、1975年、モスクワ大学から名誉博士号が授与されたのを始めとして、

北京大学、シドニー大学、デンバー大学など、世界の大学・学術機関から182に上る名誉学術称号を授与されている。1994年、英国の名門グラスゴー大学から名誉博士号

が贈られた際は、大学評議会のマンロー議長から「創価大学を他の大学から際立たせているものは、創立者・池田氏のビジョンと着想であります」との推挙の辞があった。



学生のための大学—

創価大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel.0426-91-2215 http://www.soka.ac.jp/